

かけはし

常総市議会だより



目次

Page 2-3

かけはしインタビュー
水海道中学校夜間学級

Page 4-11

かけはし一般質問
6月定例会議

Page 12

審議案件と結果
6月定例会議

Page 13

永年勤続議員表彰
市議会について

Page 14

傍聴にきませんか？

Page 15

これまでの橋百景紹介

Page 16

常総橋百景
「第十五景 吉野橋」

No.247

発行月：2024年8月
責任者：常総市議会議長
編集：議会広報委員会
発行：常総市議会
0297-22-0318
www.city.joso.lg.jp

動画でみる
常総市議会





かけはし インタビュー

市議会 × 水海道中学校夜間学級



市議会(以下、議会)

夜間学級の概要について教えてください。

夜間学級

夜間学級(夜間中学)は、義務教育を修了できなかった方や、入院や不登校など様々な理由でほとんど学校に通えなかった方、また本国で義務教育を修了していない外国籍の方などが学ぶ学校です。

水海道中学校の夜間学級では、『夢』を応援する学校」ということを重要なコンセプトにしており、前向きな気持ちに込める教育の実践を心掛けております。本年度は、現在、ほぼ定員の31名の生徒が在籍しています。5名が日本国籍の方で、26名が外国籍の方です。入学資格は、原則的に茨城県内に住んでいて、学齢を超えている方(その年の3月31日までに15歳になっている人)で、次のいずれかに該当する人です。①中学校を卒業していない人 ②中学校を卒業はしているが、様々な事情によって義務教育を十分に受けられなかった人 ③在留資格のある外国人で、日本の義務教育に相当する教育を受けられなかった人、以上の三つです。

昼間の中学校と同じように、様々な学校行事も行っており、スポーツ・フェスティバル(運動会)やミュージック・フェスティバル(合唱会)、校外学習などもあります。また、夜間と昼間の生徒が交流を図れるように、それぞれの合唱コンクールの様子を録画して、昼と夜の合唱コンクールの際に鑑賞し合う機会をつくっています。昨年度から本年



生徒たちの作品



オリエンテーションの様子

度にかけては、外国籍の生徒に日本の文化を知ってもらうために、市内のお囃子会の方々に来ていただく笛や太鼓、舞などを体験させていただきました。

また夜間学級ではこれまで2回の卒業式を行い、計22名の生徒が卒業をしていきました。卒業後は、高等学校や専門学校に進学したり、仕事を継続したり、大学を目指す人もいたり、それぞれの夢に向かって羽ばたいています。

議会

課題に感じることをお聞かせください。

夜間学級

夜間学級は学校の特性上、多様な文化や、

学習環境のバックボーンである様々なルーツと共生していくことがとても大切だと考えています。特に、外国籍の生徒が多いこともあり、それぞれの文化と教育課程を共存させていくことを課題として考えていました。それぞれの文化を学ぶところから始まり、本年度も学校のカリキュラムや※シラバスを工夫するなど多文化共生に向けて一歩一歩進んでいるところです。

また、学校の広報活動についてどう進めていくべきかも大切な課題であると感じています。ポスターやホームページで告知をしているのですが、日本人で学び直しをしたいと思っている方のご家庭にどのような知らせていくのか検討をしています。

議会

今後どのような学校にしていきたいかお聞かせください。

夜間学級

「夢と感動」で人を育む、未来とつなぐ」という学校の組織目標のもと、夜間学級では特に「夢」という部分に焦点を当てて、生徒の夢を応援する学校ということを重要なコンセプトにして生徒一人一人との対話を大切にしてきました。

生徒たちの夢や目標を、「多文化共生」という柱と、「学び直しの実現」というもう一つの柱でしっかり支え、未来につなげたいと考えています。

(令和6年5月インタビュー)

※シラバス：講義の計画と内容を解説したもの



授業の様子



聞きたい 知りたい まちのこと 市政のこと

常総市議会映像配信中!! <https://joso-city.stream.jfit.co.jp/>



※内容は発言議員本人からの寄稿によるものです。

議員

子宮頸がんがどのようなものなのか定期接種の内容と併せて伺う。

福祉部長

子宮頸がんは、子宮頸部にできるがんで、日本では毎年約1万人の女性がかり、約2千9百人が亡くなっていると報告されている。30歳までにがん治療で子宮を失う人は約千人いるといわれており、現在子宮頸がんの原因となるHPV感染を防ぐワクチンの接種を定期接種として実施している。

議員

当市でのHPVワクチン接種の実施状況を伺う。

福祉部長

令和5年度は、対象となる女性1279名のうち接種完了者は123名。接種率は9.6%である。

議員

男性へのHPVワクチンの接種費用助成はあるのか伺う。

福祉部長

現在、当市では自己負担での接種となっている。

議員

県内で男性に対してHPVワクチン接種費用の助成を行っている自治体はあるか伺う。



柴 典明 議員

質問

男性へのHPVワクチン接種について

答弁

男性のHPV感染を予防することで女性を守るという点では、大変重要なワクチンであると認識している

柴議員の質問動画



チン接種費用の助成を行っている自治体はあるか伺う。

保健推進課長

県内では、水戸市、龍ヶ崎市、大子町が実施している。

議員

今後男性に対する接種費用助成を実施していく考えはあるのか伺う。

保健推進課長

女性に対して接種勧奨を控えていた経緯があり、男性に対しても同様のケースが発生する懸念がある。国や他市町村の動向を見ながら効果や安全性などの検証を進めていく。

議員

これからの保健事業に対する市長の考えを伺う。

市長

子宮頸がんワクチンは女性の命を守るという点で、大変重要なものと認識している。色々な形で市民の命や健康を守る責任が行政にあるので、しっかりと検討しながら進めていきたい。

用語 【アピアランスケア】アピアランスとは外見という意味で、アピアランスケア支援とは、主にがんに罹患し、その治療の過程で外見が大きく変化した方への支援として、それらの外見の変化を補うための補整具購入を補助する制度のこと



柳井 真吾 議員

質問

アピアランスケア支援について

答弁

心理的及び経済的な負担の軽減について、先進的な事例を研究していく

柳井議員の質問動画



議員

当市のアピアランスケア支援である、常総市がん患者医療用補整具購入費助成金について、内容とウィッグの実績について伺う。

福祉部長

常総市がん患者医療用補整具購入費助成金は、医療用補整具の購入に要した費用に対し、助成金を交付するもので、がんの治療に伴う外見の悩みを抱えている方の心理的及び経済的な負担を軽減し、就労等の社会参加の促進、療養生活の質の向上を目的に令和2年度から実施している。助成金は、医療用ウィッグ、乳房補整具それぞれ上限額1万円、助成回数は1回のみとなっている。また、県の場合はがん患者トータルサポート事業においても、最大2万円の補助制度を実施しており、合わせて最大3万円の助成となる。医療用ウィッグの申請件数は、令和2年度から5年度までで合計46件である。

議員

千葉県流山市や野田市の助成額は18歳以下が5万円、19歳以上が

一般質問

質問

アピアランスケア支援について

答弁

3万円と子どもたちの支援が厚くなっている。18歳までの子どもたちに対して助成金の拡充を提案するが、当市の考えを伺う。

柳井議員の質問動画



福祉部長

現時点では、年齢による助成金の違いは設けていないが、子どものウィッグについては、成長に伴い、高額なウィッグをつくり直す必要があることから保護者の負担が大きいと考える。本市としては、心理的及び経済的な負担の軽減について、先進的な事例を参考に研究していく。

議員

がん以外の脱毛症など病気も助成対象にと提案するが、当市の考えを伺う。

福祉部長

がん治療の副作用における脱毛だけでなく、病気による医療用ウィッグを必要とする方の状況や、先進的な自治体の助成の実施状況などを研究していきたい。

議員

誰一人取り残さない支援、このような寄り添う支援の早急な検討と実行をお願いしたい。



石塚 剛 議員

質問

市民の健康増進の取り組みについて

答弁

自分らしく人生を全うできるような支援に努め、継続していきたい

石塚議員の質問動画



議員

がん予防の取り組みを伺う。

福祉部長

子宮がん検査費用、乳がん超音波検診で対象年齢を20歳以上に拡大・検査費用及び前立腺がん検診費用の助成を行っている。医療機関での各がん検診や国保加入者の人間ドック及び脳ドックの費用助成、国指針に基づいた子宮がん乳がん検診の無料クーポン券を発行している。

議員

ワクチン接種の取り組みを伺う。

福祉部長

定期接種14種と、任意接種で子どものインフルエンザ、おたふくかぜ、高齢者肺炎球菌の接種費用助成、未接種者への予防接種勧奨などに取り組んでいる。

議員

带状疱疹、HPVの男性への接種費用助成について伺う。

保健推進課長

ワクチン接種は大きな意義があることから、国の動向や他市町村の状況を注視していく。

議員

带状疱疹、HPVの男性への接種費用助成を要望する。

福祉部長

予防教室で専門家による知識や運動の普及などに努めている。認知症支援として、24時間体制の総合相談窓口を設置、認知症初期集中支援チーム、行方不明高齢者等SOSボランティア養成、認知症高齢者探索サービス、認知症カフェ開催等を行っている。

議員

市民の健康増進について、市長の所見を伺う。

市長

市民の健康長寿、幸せを守るのも行政の責任である。市民の皆様が自分らしく充実した人生を送っていたら、引き続き支援に努め、継続していきたい。

議員

引き続き、市民のための健康増進の取り組み推進をお願いする。

用語 【高齢者フレイル】「加齢とともに心身の活力が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態であるが、一方で健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間を意味する。適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像」とされており、



草間 典夫 議員

質問

市下水道事業における
広域化・共同化計画とは：

答弁

農業集落排水を公共下水道に
接続する計画になっている

草間議員の
質問動画



議員

下水道の整備方針について伺う。

都市建設部長

茨城県生活排水ベストプランに基づいて下水道整備エリアの見直しを行った結果、当市の公共下水道の全体計画面積は1493・8haで、残る地区は合併処理浄化槽による処理区域とした。また、アクションプランとして、概ね10年以内に公共下水道の整備区域を位置づける計画で、北海道地区が555ha、石下地区295haを策定している。今後、令和8年度中に公共下水道全体計画を改定し、計画的に整備を進めていく。

議員

下水道の広域化・共同化の必要性について伺う。

都市建設部長

下水道施設の老朽化や使用料収入の減少などの課題を抱える中、処理区域の統合や下水汚泥の共同処理、維持管理業務の共同化、ICT活用による集中管理など、持続可能な下水道事業に必要な取り組みである。

議員

当市の下水道広域化・共同化の計画について伺う。

下水道課長

令和4年度策定の広域化・共同化計画により、農業集落排水を公共下水道に接続する計画である。

議員

農業集落排水水処理施設5か所の統廃合推進の方向性を伺う。

下水道課長

令和11年度までに報恩寺農業集落排水を坂手町にある北海道浄化センターへ統合、令和14年度までに大生郷から大花羽水処理センターに統合後、大生郷・大花羽農業集落排水は大生郷終末処理場へ統合する予定である。沖新田・五箇農業集落排水については、今後詳細を検討していく。

議員

水処理施設の統合に関しては、今後の計画段階の中で、その予定や状況等に応じて事前に説明の機会を改めて設けていたきたい。

【その他の質問】

★ラーケーション（体験活動推進日）の導入について

議員

コミュニティバスの運行について基本方針を伺う。

都市建設部長

既存の公共交通の関東鉄道常総線を南北の移動の軸として、東西の各地域と鉄道駅、病院、商業施設等の拠点を可能な限りつなぐルートを網羅的に設定した。

議員

コミュニティバスの運行に係る経費及び事業目標を伺う。

都市建設部長

コミュニティバスの運行経費は、年間で概ね7千万円となっている。事業目標は、運行経費に対する運賃収入の割合である収支率を指標としている。収支率の目標は、今年度10%、2年目15%、3年目20%としている。

議員

コミュニティバスの今後のルール見直しについて伺う。

都市建設部長

コミュニティバスは運行開始から間もないため、まずは認知度を高めることが重要と考えており、その具体策として広報常総7月号に、



吉原 晴照 議員

質問

コミュニティバスの運行について

答弁

コミュニティバスは運行開始から間もないので、認知度を高めていく

吉原議員の
質問動画



7月12日～8月31日に利用できる4回分無料乗車券を添付する予定である。現在、市民の皆様方から意見やご要望もいただいているので、ルートやダイヤについて定期的に見直しを行っていく。

議員

今後の公共交通の在り方について伺う。

都市建設部長

地域公共交通の維持は、自動運転やMaasの最新技術、自治体版ライドシェアなど、法改正や新たな取り組みなど国等の動向を注視し、先進事例の研究を続け、当市に適した地域公共交通の最適化を実施して行きたいと考えている。

議員

少子高齢化が進む昨今、当市の地域交通再活性化を図るために、コミュニティバスの車両台数増と運用の見直しが必要と考える。また、従来の交通手段サービスに自動運転やAIなど、様々なテクノロジーを掛け合わせた次世代の交通サービスであるMaasがあるので、それらの導入なども含めて検討を要望する。



塚本 治男 議員

質問
当市の防犯カメラ及び防犯灯
設置等の防犯対策について

答弁
防犯カメラ及び防犯灯は継続的に
設置し、防犯対策強化を図る

塚本議員の
質問動画



議員

令和5年12月現在における当市の刑法犯の総数は478件であり、人口千人あたりの犯罪率は7.941で、県内44市町村の中で15番目の高さとなっている。特に発生が多い犯罪は、侵入窃盗、自動車盗難、金属盗難などであり、侵入窃盗の傾向として、闇サイトによって無差別に押し込み強盗が発生し、殺人事件まで発生しかねない事件が発生している。また県内では農機具の盗難が多く、さらに灌漑施設の金属フェンスやグレーチングなどを盗まれたと耳にする。多くの方々から防犯カメラの更なる設置の要望の声が届いており、市街部だけでなく、広くその恩恵を受けられる設置計画が望まれる。そこで、防犯カメラの現在の設置件数及び整備状況について伺う。

市長公室長

市内の防犯カメラは令和5年度末までに29か所42台で、自動車や人の往来が多い箇所を中心に市全域に設置されている。

議員

防犯カメラの今後の設置計画に

おける当市の考え方について伺う。

市長公室長

防犯カメラの設置場所は都度常総警察署と連携して決定している。安全安心な地域づくりのために大変有効な設備であるため、今後も継続的に設置を進める。

議員

市内の防犯灯の設置件数と設置方針について伺う。

市長公室長

現在、約6千5百基の防犯灯などを含む街灯を管理し、安全な地域づくりの環境整備として、夜間における犯罪、事故等の発生防止と安全安心な市民生活の向上を目的とし、設置を進めている。

議員

今後の当市の防犯対策強化について伺う。

市長公室長

交通防犯対策として防犯カメラ・防犯灯は大変有効な設備であり、今後も継続的に設置し、防犯対策の強化に努める。

議員

市民が犯罪に巻き込まれない環境づくりの推進を強く要望する。



岡野 一男 議員

質問
ツナグ未来誕生祝福金の支給額は同じにすべきではないか

答弁
現状の多子の出産には
加算する制度を継続していきたい

岡野議員の
質問動画



議員

社会保障・人口問題研究所によると日本の人口は、2100年には6277万人と予測。少子化は予測より10年以上早く進行しているといわれている。対策は講じているといわれるが、その効果は見えてこない。今回、出産祝金と名称と支給額が変わったが、この経緯について伺う。

福祉部長

この名称は、家族をツナギ、時代をツナギ、当市の未来をつなぐという願いを込めてつくられたものである。支給額は、第1子が3万円、第2子が5万円、第3子以降は10万円に増額している。

議員

名称はわかりやすく、誕生祝い金でもよいと思う。所得制限は納税者に不平等、不公平感が生まれる。この祝い金には所得制限があるか伺う。

福祉部長

所得制限は設けていない。

議員

支給額の区別はどのように設定したか伺う。

福祉部長

新生児の出産を祝う事業は、各自治体で導入しており、その支給額や支給方法については各自治体でまちまちである。当市では、育児をしながらの出産になると、経済的、身体的にも負担が大きくなるということ、多子の出産になるほど加算された額で支給している。

議員

親にとって子どもは皆同じ、愛おしいものである。支給額の多い、少ないで子どもを産み育てるものでない。子どもには区別することなく同じ額を差し上げるべきだと考えるが市の考えを伺う。

子ども課長

経済的、身体的負担が大きいことを考慮し、現状の多子の出産には加算した額を支給していきたいと考えている。

議員

人は初めて子どもを授かり幸せと感じたならば二人目も育てたいと思うのではないか。支給額の区別を撤廃してほしい。



中村 安雄 議員

質問

坂手地区の産業用地大規模開発による
税収増が見込まれるが市の見解は

答弁

企業誘致で税収増を目指し、
市民ニーズに応えていきたい

中村議員の
質問動画



議員

坂手地区の34.5haが県によつて産業用地開発地区に選定された。この大規模開発と雇用の確保・居住等の問題について伺う。

副市長

事業者及び就業希望者を対象とした総合的な雇用対策を実施している。具体的には外国人雇用に関するセミナーや市内企業の就職説明会を開催した。事業所への支援は雇用促進奨励金と雇用拡大奨励金がある。住まいの確保については潜在的な空き家の掘り起こしを行い、空き家等バンク活用の支援を行っている。空き家等バンク利用者に対しては、修繕等に活用できる補助金を交付して、移住・定住の推進を図っている。

議員

農地から企業用地への転用によって多額の税収が期待でき、これらの財源によって市民の多くの要望に応じることができると考えるが市の考えを伺う。

総務部長

今後新たな企業進出に伴い、固定資産税の増収が見込まれるもの

と考えている。坂手地区の課税状況を参考に答えると、元の地目が農地や山林の場合は1平米あたり0.5円から1円の課税に対し、地目が宅地に変更になると、近隣工業用地を参考にすると1平米あたり130円程度になると見込まれる。従って、農地や山林が工業用地化された場合は大幅な税収増となるので、安定した市政運営に寄与するものとして期待している。

議員

企業誘致による大きな税収増は財源となり市民の生活に大きく貢献するので、今後とも継続的な企業誘致の推進を図れるように最善を尽くしてもらいたいと考える。市長から企業誘致について一言お願

市長

土地だけでも130倍の税収増ということ、アグリサイエンスバレーの効果も出始めているところだが、さらなる企業誘致で税収増を目指し、市民のニーズにしっかりと応えられるように財政再建を図っていききたいと考える。

議員

まちなか再生事業の今後の展開について伺う。

副市長

地域資源の有効活用に加え、地域内の公共施設の利活用をテーマに多様な世代による市民参加の関わり方を提示し、今後の水海道駅中心エリアのまちなかの賑わい創出へ向けた行動計画として、アクションプランを策定する。

議員

水海道市街地整備事業について伺う。

市長公室長

市では、コンパクトなまちづくりを推進し令和3年3月に常総市立地適正化計画を策定した。この計画に基づき水海道公民館、常総市保健センター及び水海道児童センターの3施設を市民広場及び市役所本庁舎等に集約すると共に市民の広場及び旧報徳銀行の改修事業を一体的に進めていくものです。市では「こどもまんなかまちづくり常総」を重要施策として位置付け水海道市街地整備事業では、子育て環境の整備と充実を最優先に進



中島 義昭 議員

質問

水海道地区中心市街地活性化
について

答弁

今後も地域資源を活かして地域の方々が積極的に参加してもらえようとしていく

中島議員の
質問動画



めていき、現在実施している「水海道市街地整備事業に関するサウンドディング型市場調査」を通じて、公民連携による持続可能なまちづくりを目指していく。

議員

水海道地区中心市街地の活性化に関する市長の考えを伺う。

市長

水海道まちなか再生に向けて様々な取り組みを昨年度行ってきた。その中で多くの市民の声を聴き二つの視点が必要と気付いた。一つは公民館も含めた思い切ったハード整備。二つ目は子育て関連、防災も含めたソフト面。この両方に言える「子どもたち」が大きなテーマである。子どもたちや、子育て世代に優しいまちづくりは、高齢者にとっても、大人にとっても集いやすく、活気のあるまちになると確信している。国の補助金を使った計画を予定しているので、令和7年度から5年かけてまちなかを大改造していく。

議員

財源を確保して住民の希望と期待に応えられるよう強く要望する。



佐藤 剛史 議員

質問

吉野公園の活用について問う

答弁

多くの方が訪れることで吉野公園全体が活性化するような施策を講じる

佐藤議員の質問動画



議員

吉野公園はアグリサイエンスバレー常緑から大変近く、家族や子ども連れの皆さんが楽しんでいただけるポテンシャルがある。家族で来ていただくことで収支もよくなると思うが、子ども用釣堀設置について当市の考えは。

副市長

公園に賑いを生むために子どもが楽しめる釣り場は大変有効である。単に子ども用のエリアを設けるだけでなく、比較的釣りやすいヤマベやタナゴなど別の種類の魚を放流することで多くの利用者を獲得できると考える。他市では大人から子どもまで楽しめるよう、竿の貸出しや初心者に対する指導を行っているところもある。吉野公園は周囲4キロメートルと広く、利用目的ごとのエリア分けも可能なので、今後調査研究をしていく。

議員

広い水路の水資源を生かしたアトラクションも来場者を増やすためには大変有効と考える。水場アトラクションの設置についての当市の考えは。

副市長

今後さらに来園者を増やすために水資源を活用することは大変有効と考える。現在は全面が釣堀だが、吉野公園は面積が広大であるため区分けし、水面を利用したスポーツを楽しめるエリアや親子で釣りができるエリアなどを設けることができる。しかし、施設を改善するためには費用や地元や従来から釣りを楽しんでいた方々との協議も必要である。釣り人や地域の方々を交え、公園の在り方を検討していきたい。

議員

ヘラブナ釣りは沢山の荷物を持ち歩くため移動が厳しいという声をいただく。釣り堀における栈橋の増設についての考えは。

副市長

吉野公園は釣堀としての人気が高く、釣りを楽しむ方々の声はとても重要である。釣堀を利用する方の満足度を向上させる設備として浮き栈橋の増設についても調査研究を行い、多くの方が訪れることで吉野公園全体が活性化するという施策を講じていきたい。



坂野 茂実 議員

質問

喫緊の課題である人口減対策として移住者を呼び込む施策について

答弁

様々な施策を全庁的に研究していきたい

坂野議員の質問動画



議員

空き家を活用した移住者の呼び込みが考えられるが、活用可能な空き家数と空家バンクの取り組みの成果と、今後の活用の計画について問う。

都市建設部長

平成30年度から実施して、現在まで登録件数が延べ56件、利用申込が172件、成約件数35件、利用可能登録物件は6件である。

議員

利用可能物件が6件と極めて少ないと思うが、移住者を呼び込むためには、質の良い物件が必要である。今後の課題は何か。

都市整備課長

制度をうまく活用した上で所有者などにアプローチをすることで、利用可能物件を増加させていく。

議員

若者の就労支援と住宅支援で移住者を呼び込む施策について問う。

都市建設部長

昨年度から結婚新生活支援補助金制度を実施しており、新規に婚姻した世帯を対象に、新生活に係る住宅の取得や改修、賃貸費用、引

越費用等、結婚に伴う新生活のスタートに係る費用を支援するもので、昨年度は7件の新婚世帯に御利用いただいた。

議員

消滅可能性自治体が発表され、当市は『その他』に分類された。これは20歳から39歳の若年女性の減少率が少ないということで、今後の施策次第では結婚を機に出生率の増加の可能性を秘めているのではないかと。地元で定住している若年層の多くが地元や近隣に就職されていると思われるが、今後は、市の単独事業などで就職と住宅支援等をセットで若年層が常総市への移住を惹かれるような策を調査研究して欲しい。

副市長

また離農者が増加している中、遊休農地を観光農園や市民農園への活用で、交流人口増や移住につながるような計画はあるか。

当市の都心からのアクセスが良好という地の利を生かし、家庭菜園つき宅地や農地つき住宅の貸し付けなどの政策を全庁的に研究していく。



堀越 道男 議員

質問

国保税、均等割の所得制限をなくせないか

答弁

今後、協議を重ねていく

堀越議員の質問動画



議員

県は、令和4年度に国民健康保険税を2方式(所得割と均等割)にした。均等割について、県は5億円を用意し、20歳未満の人数で按分し補助金として交付し、県内各自治体は、これを活用して子ども均等割を半額免除した。しかし、当市は残念ながら所得制限を設けたので、免除されない子ども達がいる。県内では当市だけが、市の考えを伺う。

市民生活部長

小学生から高校生世代の被保険者に対する国民健康保険税均等割額の減免は5割とすることにしたが、当市の国保加入世帯の所得状況は50万円以下の世帯が96%、50万円越えは4%である。この世帯を高額所得世帯と位置づけて所得制限を設けた結果、50万円越えの世帯は77世帯であり、該当被保険者数は135人である。県内市町村で、5割軽減を設けているところは44市町村中24市町村で、所得制限を設けている市町村は、議員指摘の通り当市のみとなっている。今後は他市町村の状況を鑑

み、協議を重ねていきたいと考える。

議員

かすみがうら市の令和6年3月定例会議の議事録を見ると、『マル福波及分に関わる国庫負担金のペナルティ廃止に伴い生じる余剰財源を一般財源に入れ、子育て支援策として使いたいという思いがあり、また今年度若い世代の移住定住の施策が急務であると考え、子育て支援策の一環として、市単独の新規補助事業を作るということを決断した』とあった。県内では初めての施策で、子どもの均等割を0にした例である。改めて当市においても、かすみがうら市に学んで改善をしていただきたい。

市民生活部長

今後も継続して検討していく。

【その他の質問】

★人口減少問題について

★道路・橋の改修再建について



茂田 信三 議員

質問

5万5千円のパネルがなぜ29万3千円の見積もりなのか

答弁

今後厳格な見積もりを取る

茂田議員の質問動画



議員

道の駅太陽光パネルの設置金額として令和6年度当初予算2億2550万円を計上した。それを9614万7千円減額補正することについて疑義を感じる。どういう見積もりをしたのか。このような多額な減額はあり得ない。今後見積もりの再検討が必要ではないか。

副市長

道の駅常総の躯体の仕様や社会情勢、その他様々な条件を前提に聴取を行い、見積もりをした。

議員

予算に対して疑いをもたれることは絶対にあってはならないことである。専門の業者に見積もりをとったところ、同じパネルの料金が高くても一枚5万5千円である。どうしてそれが市の見積もりでは29万3千円になるのか。

農業政策課長

議員が委員会等で発言されたことは承知している。太陽光パネルの設置費用については、入札する際に業者から見積もりをとり、それを参考に金額を設定した。

議員

最終的には19万2千円で値段が決まったが何故5万5千円と同じ品物がそうなるのか。今太陽光パネルが大暴落している。アメリカ、日本、ドイツの大企業が事業から撤退している。このような金額は絶対にあるえない。

農業政策課長

道の駅を設計した栃木県の会社に相談した。

議員

こういうことをやっているから国の借金が2千3百兆円になるのである。このような法外なことは通らない。国の補助金も入っていることであるから、国の会計検査院に検査してもらう。道の駅に税金で太陽光パネルを設置し無料で使わせ、電気料金を取らないのは、どう考えても納得できない。

【その他の質問】

★西原地区県道357号の道路補修の進捗について

この件については今年度より工事に入り、2年間で排水溝、道路舗装を実施予定とのこと。



入江 赴史 議員

質問 常総IC北側地区開発計画について

答弁 市は把握しておらず、協力もしていない

入江議員の質問動画



議員

都市計画マスタープランは常総IC北側開発行為のお墨つきとなるのか。

都市計画課長

お墨つきではない。

議員

都市計画マスタープランによって農振除外がされる。そのためにも、市は都市計画マスタープランを頑張ったという話があった。このようなことはあり得るのか。

都市計画課長

都市計画マスタープランの位置付けのみで、農振が除外されるものではない。

議員

地域未来投資促進法の適用を受けることは農地転用許可を容易にするものなのか。

都市計画課長

許可に要する期間を通常より多少短くできる可能性はあるが簡単に適用を受けられるものではない。

議員

市は事業者と2年半協議を行ったのか。

都市計画課長

常総IC周辺の別地区に関する相談は2年程前から受けている。

議員

相談を受けた際、常総IC北側の開発計画について聞いてなかったということか。

都市計画課長

おっしゃるとおりである。

議員

協議していないということは、計画の中身も市は当然把握していないということか。

都市計画課長

具体的な協議は一切していない。

議員

行政関係者が協力をしているということはないか。

都市計画課長

きっぱり否定させていただく。

議員

市長は常総IC北側地区開発計画を知っていたか。

市長

市としては今答弁したとおりである。



小林 剛 議員

質問 森林税は二重課税？再エネ賦課金増教科書採択は単独採択に！

答弁 税用途が重複しないよう整理している。単独採択は構成市町と協議する必要がある

小林議員の質問動画



議員

県税の森林湖沼税と国税の森林環境税、どちらも森林の整備。二重課税ではないか。

課税課長

県の森林湖沼税と国の森林環境税それぞれの用途、施策が重複しないよう整理している。

議員

国税と県税であるが、市が市民から徴収しているので大いに関係があり、丁寧に説明すべきである。

課税課長

問い合わせは多い状況ではないが、あった場合は丁寧に説明する。

議員

電気料金が7月から値上がりする。加えてソーラーパネルの設置増加により再エネ賦課金が上がっていく。森林を伐採し、農地の本来の姿は変化し、火災になれば消火は困難を極める。廃棄も問題になるが、市の考えを問う。

産業振興部長

自然環境保全に向け、太陽光発電の設置適正化も掲げ自然環境を保全していく事も重要と捉えている。

議員

市は大規模な太陽光発電所の規制等も検討しておく必要がある。中学校教科書採択地区の構成市町名と教科書選定の流れを伺う。

教育部長

古河市、坂東市、五霞町、境町、常総市で選定協議会を組織し教科書の調査研究を行い選定する。

議員

令和4年にこの採択地区内であった教科書会社の接待問題を認知しているか。

教育部長

利益供与について、報道はもとより文部科学省、県教育委員会からの通知により認識している。

議員

新たに検定に合格した国史教科書の社名と発行者名を伺う。

学校教育課長

令和書籍 作家竹田恒泰氏である。

議員

水戸市、常陸大宮市に続き単独採択とすべきと思うが市の見解は。構成市町と協議する必要がある。

教育部長

令和6年6月 定例会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件で下表に掲載しております。

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第1号	常総市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が改正されたことに伴い、用語の整合を図る改正を行うもの	可決
議案第2号	茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	茨城県後期高齢者医療広域連合規約の変更に係る協議を行うため、地方自治法の規定に基づき、提出するもの	可決
議案第3号	常総市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	特定教育・保育施設等の運営に関する基準を定める内閣府令が改正されたことに伴い、条例中の規定を府令と同様の内容に改めるもの	可決
議案第4号	常総市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める厚生労働省令が改正されたことに伴い、条例中の職員配置基準を省令と同様の内容に改めるもの	可決
議案第5号	専決処分の承認を求めることについて	小学校教師用指導書及び教科書の取得について、令和6年3月27日に専決処分したので、地方自治法第179条第3項の規定により報告し、議会の承認を求めるもの	可決
議案第6号	常総市都市計画審議会条例の一部を改正する条例について	常総市都市計画審議会の委員定数について改めるほか、軽易な案件について処理する常務委員会の設置に関する規定を加える等の改正を行うもの	可決
議案第7号	常総市営住宅管理条例の一部を改正する条例について	市営住宅の入居者の資格に関する規定について、条例中で引用する法律が改正されたことから、用語の整合を図る等の改正を行うもの	可決
議案第8号	常総市公共下水道条例の一部を改正する条例について	国土交通省が定める標準下水道条例が改正されたことに伴い、排水設備指定工事店の指定基準の見直しその他所要の改正を行うもの	可決
議案第9号	市道の路線の廃止について(3388号線)	坂手町地内の路線について、隣接する民有地と一体となり、道路としての機能を有しておらず、当該路線に隣接する土地の所有者から払下げの要望があることから、その認定を廃止するもの	可決
議案第10号	市道の路線の廃止について(3389号線)	坂手町地内の路線について、隣接する民有地と一体となり、道路としての機能を有しておらず、当該路線に隣接する土地の所有者から払下げの要望があることから、その認定を廃止するもの	可決
議案第11号	市道の路線の廃止について(3994号線)	坂手町地内の路線について、隣接する民有地と一体となり、道路としての機能を有しておらず、当該路線に隣接する土地の所有者から払下げの要望があることから、その認定を廃止するもの	可決
議案第12号	市道の路線の廃止について(西632号線)	鴻野山地内の路線について、隣接する民有地と一体となり、道路としての機能を有しておらず、当該路線に隣接する土地の所有者から払下げの要望があることから、その認定を廃止するもの	可決
議案第13号	市道の路線の変更について(3384号線)	坂手町地内の路線について、隣接する民有地と一体となり、道路としての機能を有しておらず、当該路線に隣接する土地の所有者から払下げの要望があることから、その終点を変更するもの	可決
議案第14号	市道の路線の変更について(3385号線)	坂手町地内の路線の一部について、隣接する民有地と一体となり、道路としての機能を有しておらず、当該路線に隣接する土地の所有者から払下げの要望があることから、その終点を変更するもの	可決
議案第15号	市道の路線の変更について(3390号線)	坂手町地内の路線について、当該路線に隣接する土地の所有者から払下げの要望があることから、その起点を変更するもの	可決
議案第16号	市道の路線の変更について(西66号線)	岡田地内の路線の一部について、隣接する民有地と一体となり、道路としての機能を有しておらず、当該路線に隣接する土地の所有者から払下げの要望があることから、その終点を変更するもの	可決
議案第17号	市道の路線の認定について(6037号線)	議案第14号において変更する市道3385号線の一部について、払下げの要望のある部分を除いた現道の部分を改めて市道として認定するもの	可決
議案第18号	令和6年度常総市一般会計補正予算(第1号)	補正予算の増額分 7億8,057万9,000円 補正予算後の総額 241億8,057万9,000円	可決
議案第19号	財産の取得について	5月23日に指名競争入札を行った消防ポンプ自動車の取得について、予定価格が議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に定める額を超えていることから、落札者と仮契約を締結したので提出するもの	可決
議案第20号	茨城県再生資源物の屋外保管の適正化に関する条例の一部改正を求める意見書提出について	茨城県で統一されたより適正な再生資源物の屋外保管場の立地基準の規制を新たに盛り込むよう、強く要望するもの	可決
陳情第1号	菅生沼土地改良区内の観音排水路整備促進に関する陳情書	市議会において、この地域に必要な観音排水路の早急な整備促進のため、国・茨城県・常総市・守谷市への取り組みの支援を求めるもの	採択
推薦第1号	常総市各種委員の推薦について	市長より推薦を求められたため、推薦するもの 【まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員】塚本 治男、中島 義昭	推薦

≪会議の欠席等の状況≫

6月5日～6日 【本会議】(欠席)堀越道男

令和6年6月 定例会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。★議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。

○:賛成 ×:反対 棄:棄権

議案番号	常総の志						令明会					無所属の会			未来		日本共産党	立憲民主党	会派所属無し	
	中島 義昭	塚本 治男	倉持 守	中村 博美	中村 安雄	坂巻 文夫	佐藤 剛史	柳井 真吾	石塚 剛	草間 典夫	吉原 晴照	大澤 清	遠藤 章江	岡野 一男	坂野 茂実	小林 剛	堀越 道男	入江 赳史	柴 典明	茂田 信三
議案第20号	×	×	×	○	×	※	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わらない

永年勤続議員表彰

全国市議会議長会及び茨城県市議会議長会では、市議会議員として永年勤続され、地方自治の進展に寄与された議員に対し、毎年表彰を行っております。今年度も、当市議会から4名が表彰されました。



(写真右から)

遠藤 章江 議員

全国市議会議長会
10年一般表彰

堀越 道男 議員

全国・茨城県市議会議長会
45年特別表彰

中村 安雄 議員

全国・茨城県市議会議長会
議長4年

倉持 守 議員

全国・茨城県市議会議長会
正副議長4年



市議会について

まちづくりは市民・市役所・議会がそれぞれの役割を担って連携しています。ここでは、市民の皆さまにもっと議会や議員のことを知っていただくために、議会の役割をご紹介します。



市民



聞く！

いつも市民の意見に耳を傾けています。



説明する！

情報を発信して市民に説明します。



行動する！

市民の暮らしのために調査・研究を行います。



チェックする！

市役所の仕事をチェックしています。



提案する！

市民の意見を市の仕事として取り入れるよう提案します。

市民の意見をもとにまちづくりを



市役所



議会

傍聴にきませんか

年に4回、定例会議が開催されていますが、本会議ではどのようなことを話しているのか、議場は一体どんなところなのか、実際に見に来てみませんか。傍聴までの手順をご紹介します。

STEP
1



本庁舎の駐車場から見て右側の議会棟の3Fへお越しください。

STEP
2



傍聴券交付依頼書に住所と氏名を記入してください。

STEP
4



傍聴席に座って会議を傍聴。途中での退席可能です。

STEP
3



議会事務局職員に傍聴券交付依頼書を渡すと傍聴券がもらえます。

STEP
5



傍聴中はお静かにお願いします。スマートフォンはマナーモードに。

STEP
6



お帰りの際、傍聴券はご返却ください。

傍聴にきませんか



Q 傍聴に行くのに制限はあるの？

A 年齢等特に制限はありません。



Q どんなルールがあるの？

A 守ってほしいルールやマナーはこちらをご参照ください。





長峰橋
撮影：飯塚正一 様



石下大橋
撮影：直井和夫 様



美妻橋
撮影：直井和夫 様



水海道大橋
撮影：山本富士雄 様



菅生沼ふれあい橋
撮影：鈴木正巳 様



菅生沼大橋
撮影：鈴木正巳 様



豊水橋
撮影：野村衛 様



豊水橋
撮影：壁谷重男 様



豊水橋
撮影：宇野好則 様



御城橋
撮影：山中洋子 様



御城橋
撮影：佐藤博久 様



常総橋
撮影：佐藤博久 様



平和橋
撮影：佐藤博久 様



長峰橋
撮影：飯塚正一 様・孝憲 様

常総市は水運で栄えた町であり、市内には大小合わせて約460本の橋がかかっています。令和3年2月号に議会だより「かけはし」をリニューアルして、これまで14枚の橋の写真が掲載されましたので、ご紹介いたします。市内にはまだまだ沢山の橋がありますので、ぜひ皆様からの写真の投稿をお待ちしています。詳細は16ページに記載しています。



これまでの橋百景紹介

橋百景紹介

常総橋百景

第十五景

吉野橋

撮影地
常総市上蛇町



**常総橋百景
写真募集中!!**

「かけはし」では、あなたが撮影した常総市の橋百景を募集しています。撮影写真、撮影地、お名前、メッセージ（100文字程度）を添えて左記の住所までご応募ください。なお、応募いただいた写真は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

【議会事務局】
〒303-1850
常総市水海道諏訪町
3222-13
☎0297(2)0318

投稿者

梅澤 隆様

小貝川の廃川を利用して作られた（へら鮒釣りと桜でも有名）吉野公園は周囲4km、自然をいかした広大な敷地に三日月湖があり、園内に平成3年10月竣工した吉野橋があります。

▶ 常総市議会映像配信中

常総市議会中継が動画で常総市ホームページよりいつでもご覧いただけます。

<https://www.josocity.stream.jfit.co.jp>

常総市議会 中継



LINE facebook X 配信中!

常総市公式アカウントにて、議会の情報を配信します。ご登録をお願いいたします。



市ホームページ



9月 定例会議(予定)						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	本会議 議員全員 協議会		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 (一般質問)	予算・決算 特別委員会	決算特別 委員会	常任委員会	常任委員会	
15	16	17	18	19	20	21
		常任委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	
22	23	24	25	26	27	28
			予算・決算特別委員会 議員全員協議会 本会議			

※正式な日程は常総市議会ホームページをご覧ください。

かけはし 広報委員会

委員長：石塚 剛
副委員長：柳井 真吾
委員：吉原 晴照
柴 典明
中島 義昭
入江 越史

常総市議会議長
坂巻 文夫

常総市議会では、開かれた議会を目指し、「議会の分かりやすさ」「議会での議論しているのか」「議員は何をしているのか」全てをお伝えすることは出来ていませんが、今後も「かけはし」を通じ、工夫しながら「伝わる」から「伝える」ものに変化するよう紙面づくりに努力を重ねていくところでです。

これからも進化する「かけはし」にご期待ください。



議長のひとこと